

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	指宿市立西指宿中学校	児童生徒数	59名
-----	------------	-------	-----

振り返りをしている子どもの様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

① 発声練習の振り返り

コロナ禍では「歌唱」ではなく、「鑑賞」や「ボディーパーカッション」に重きを置いてきた。単元の歌を歌う時は、飛沫防止のために、生徒は、精一杯の声ではなく、旋律をなぞるような声で歌ってきた。そのように歌っても仕方がないとし、正しい口の形や声量を求めることはしなかった。コロナ禍が過ぎた昨今、歌唱活動を再開させることは急務であった。本来、中学生は声安定してくるため、美しい合唱ができる。そして、それができた時の感動は大きい。その感動を3年間歌ってこなかった本校生徒にも味わわせることを目指し、歌唱活動を再開した。まずは、発声練習を生徒一人一人が意識をもって取り組むことに力を入れた。発声練習が終わるごとに発声練習についての振り返りを行った。



息を長く続かせる練習



発声練習



歌う姿勢、発声練習の内容

項目	1	2	3	4	5
姿勢	1	2	3	4	5
呼吸	1	2	3	4	5
発声	1	2	3	4	5
練習	1	2	3	4	5
本日の歌	1	2	3	4	5
明日の歌	1	2	3	4	5

発声練習振り返りカード

<個人カルテ>					
5月9日	5月15日	5月30日	6月7日	6月15日	
4.3	3.3	3.8	4.5	3.6	
1学期					
3.9					
9月20日	10月5日	10月10日	11月16日		
3.8	3.3	4.2	4.6		

8項目の発声練習を個人カルテに教師が平均点を記録している

② 授業の最後の振り返り

花	11/6	歌唱	「花」の情景を表現するために「どのよう」な工夫をすればよいか	A	分かったこと 次で頑張ること	16分休むから早く帰る 歌の練習がわかる 11/6	よく頑張りました いっしょに
---	------	----	--------------------------------	---	-------------------	---------------------------------	-------------------

授業の最後に、振り返りを行うことで、授業者が理解してほしいことが理解できているかの確認となる。

取組についての概要（成果）

全学年、歌を歌う前に「発声練習」⇒「振り返り」の順番で取り組んだ。最初は「息を続かせる練習」の時、笑う生徒や真剣にしない生徒もいたが、振り返りを続けるごとに、真剣に取り組むようになっていった。点数も、最初は平均点が低い生徒が多かったが、この取組を続けていったため、1回の発声練習の平均点が高くなっていく生徒が多かった。授業での最後の振り返り、次に頑張りたいことを考えさせる活動を継続していったことが功を奏したのか、文化祭の全体合唱では多くの生徒が奏でる合唱に感動することができた。



<生徒の感想より>

- ・楽しく歌うことができました。今まで一生懸命取り組んでできて良かったと思います。
- ・今までの練習の成果を発揮することができ、とても良い全体合唱となった。
- ・歌っている間、ものすごく一体感が出てうれしかったです。